

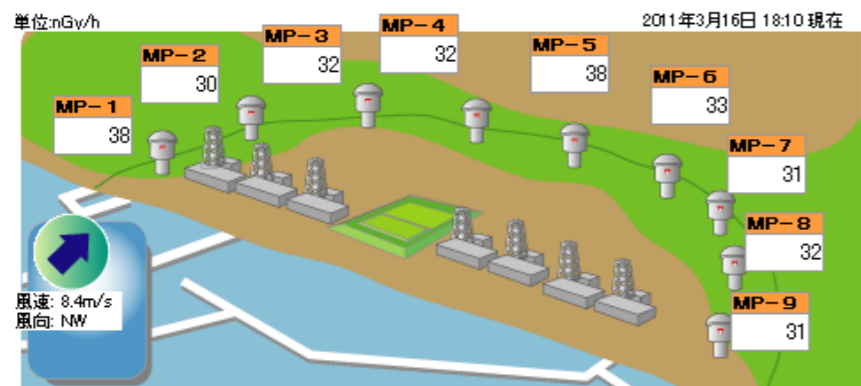
柏崎刈羽原子力発電所周辺の放射線を監視しています

モニタリングポストの測定値

◆発電所では周囲9箇所に設置されているモニタリングポストで
大気中の放射線を常時測定しています。

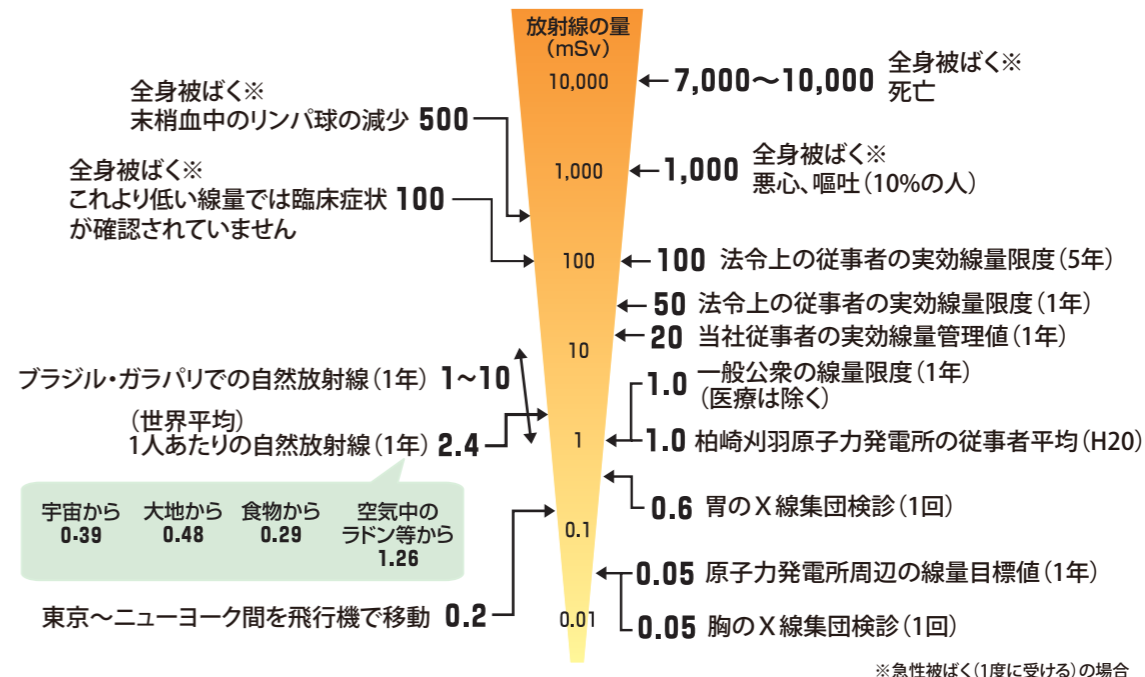
◆東北地方太平洋沖地震発生以降、モニタ
リングポストの測定値に異常な値は
出ておりません。

※3月16日18:10 現在



◆測定値の単位 **nGy/h (ナノグレイ毎時)** とは、空気中の
放射線の量を表す単位で通常は、約 20~150 nGy/h
です。この値は雨が降ると上昇し、雪が降ると低下します。

自然界の放射線と影響



●自然界で宇宙や大地、食べ物などから放射線が出ており、その値は世界平均で 2.4mSv、日本は若干低く、1.5mSv程度となっております。

放射線の単位について

◆ナノグレイ(nGy)をミリシーベルト(mSv)に換算すると、
100万分の1となります。

(例) 500 nGy/h = 0.0005 mSv/h (ミリシーベルト毎時)

◆ミリシーベルトはマイクロシーベルトの1000倍です。

(例) 0.0005mSv/h = 0.5 μSv/h (マイクロシーベルト毎時)